

おおい自然園

「酒匂川の野鳥観察会」

日 時 平成 26 年 1 月 12 日 (日)
場 所 酒匂川左岸土手
講 師 初瀬川孝夫 氏 (小田原市立鴨宮中学校総括教諭)
サポート おおい自然園サポーター 7 人 一寸木おおい自然園園長
参加者 14 人



野鳥観察会がスタートです。

肌寒い中でしたが、天候には恵まれ、14 人の参加者と 7 人のサポーターは、観察を楽しみにしている様子が伺えます。今年はどうな鳥を見ることができるでしょうか？

集合場所は、金手駐車場です。



今年もお世話になるのは、小田原市立鴨宮中学校の初瀬川先生 (写真左) です。初瀬川先生は、とてもわかりやすくお話ししていただけるので、毎年好評です。

もちろん、一寸木園長も進行及びサポート役として参加しています。

この観察会は、昨年までは秋に開催していました。「冬のほうが見ることができる鳥が少ないのでは...」という不安もありましたが、実は、木の葉が落ちているこの時期のほうがより観察がしやすいとのことでした。なるほど！！





酒匂川の土手にあがるまでも、鳥にかかわる様々なものを発見しています！

写真は、金手駐車場のトイレのところにあるツバメの巣です。

今年はどんな発見があるのか、とてもワクワクしてきます！

初瀬川先生に講師をお願いして、今年で4年目になります。先生は、観察のポイントをとっても丁寧に指導して下さり、小さい子にもわかりやすい言葉で語りかけて下さいました。

特に、鳥の見分け方については、非常に参考になりました。



各自で持参した双眼鏡や事務局等で用意した望遠鏡を使い、真剣に鳥を探しています。鳥の観察は、植物とは違いじっとしているわけではないので、難しい面もあります。しかしながら、初瀬川先生の的確なアドバイスにより、徐々に観察の仕方が上手になりました。



ちょうどされたばかりのフンを見つけました。外敵から狙われるのは「交尾」「食事」「排泄」のときが多いため、すばやく排泄ができるように尿も混ざっているとのことでした。



いよいよ、土手での観察です。この日は雨の心配は一切ないものの、太陽のまぶしさで若干見にくいところもありました。しかし、自然を相手にする観察会ですので、欲張ってはいけませんね。

この日は、おい自然園のサポーターの方々の参加も多くありました。自分自身のスキルアップも含め、参加者に対するフォローも数多く行っていただきました。

昨年10月5日にサポーター養成講座の修了証を授与し、今後もますます活躍していただけると思うと、大変心強い皆さんです。



これが今年度版のリーフレットです。参加者全員分を用意し、これを見ながら観察ができるようにしました。

事前の下見で見ることができた野鳥も反映してあるので、多くの方の役に立ったようです。



時には、図鑑やボードを使って説明をしていただきました。参加者の皆さんは、一生懸命に耳を傾けていました。



では、ここからは、観察会で見られた鳥をいくつか紹介します。



ハクセキレイ（セキレイ科）
用水路のところで見つけました。
波を描くようにとんでいる姿も見かけました。



セグロセキレイ（セキレイ科）
ハクセキレイと同じく、用水路のところにいまし
た。水辺のところにいることが多い鳥です。
この日も、高らかにさえずっていました。



タヒバリ（セキレイ科）
枯草と同色で見つけにくかったですが、田畑にい
ることが多く、昆虫や植物の種子を食べます。
この4年間で、初めて見ることができました。



ホオジロ<メス>（ホオジロ科）
地鳴きはチチッ、チチッ。太くて短いくちばしを
持ち、草の種子を主に食べています。
顔に黒い部分がないので、メスだということがわ
かります。



イソシギ(シギ科)

河原を走ったり歩いたりしていました。左の写真からは、今にも水の中にくちばしをつっこんで、えさを取ろうとしているように見えます。



アオサギ(サギ科)

かなりの数を見つけることができました。首をすくめているとよくわかりませんが、かなり大きい鳥です。名前に「アオ」とついています。実際は灰色を帯びているように見えます。



スズメ(ハタオリドリ科)

もっとも普通といえば普通ですが、なかなかじっくりと見る機会は少ないかもしれません。「スズメの絵を描いてみよう」と言われたら、ドキッとしてしまうかもしれません。



カワアイサ<オス> & カルガモ(いずれもカモ科)

カワアイサ(手前)は、あまり見ることができない鳥です。カワアイサのオスの頭は、緑色のつやがある黒です。奥にいるのがカルガモです。



最後のふり返りの様子です。見ることができた鳥について情報交換をしました。

寒さが厳しい中、熱心に観察して下さった皆さんでした。

今年は例年の秋ではなく冬の開催でしたが、充実した観察ができました。

次回の参加をお待ちしています！

最後にお知らせです。下の写真は、自然園サポーターの皆さんです。観察会後に振り返りをし、次回の観察会がよりよいものになるために、意見交換を行っています。

サポーターの皆さんは、自分の役割を持ちながらも自らの研修も主体的に行っています。

今後の活躍が、ますます楽しみです！



最後のふり返りをしているサポーターの皆さん